

令和6年度 福島地方最低賃金審議会
第2回福島県最低賃金専門部会

令和6年7月30日(火)
午後2時00分～
福島テルサ3階 あづま

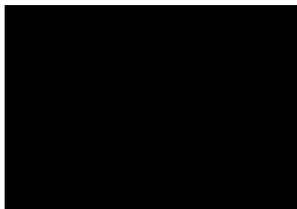
次 第

- 1 開 会
- 2 議 事
 - (1) 参考人意見聴取について
 - (2) 金額審議
- 3 閉 会

令和6年度福島地方最低賃金審議会
第2回福島県最低賃金専門部会
会議資料目次

(資料No.)	(頁)
1 福島県最低賃金改正決定に係る参考人意見陳述者名簿	310
(1) 福島県最低賃金に関する意見書 (労働者側参考人 富山 雄一)	311
(2) 福島県最低賃金に関する意見書 (労働者側参考人 高橋 勝行)	322
(3) 福島県最低賃金に関する意見書 (使用者側参考人 ██████████)	327

福島県最低賃金改正決定に係る参考人意見陳述者名簿

	参 考 人	
	労使側	職 氏 名
1	労 ※1	日立 Astemo ハイキャスト労働組合 執行委員長 富山 雄一
2	労 ※2	福島県医療労働組合連合会（福島県医労連） 執行委員長 高橋 勝行
3	使 ※3	

推薦団体 ※1 電機連合福島地方協議会
 ※2 福島県労働組合総連合
 ※3 福島県商工会議所連合会
 福島県商工会連合会
 福島県中小企業団体中央会
 福島県経営者協会連合会

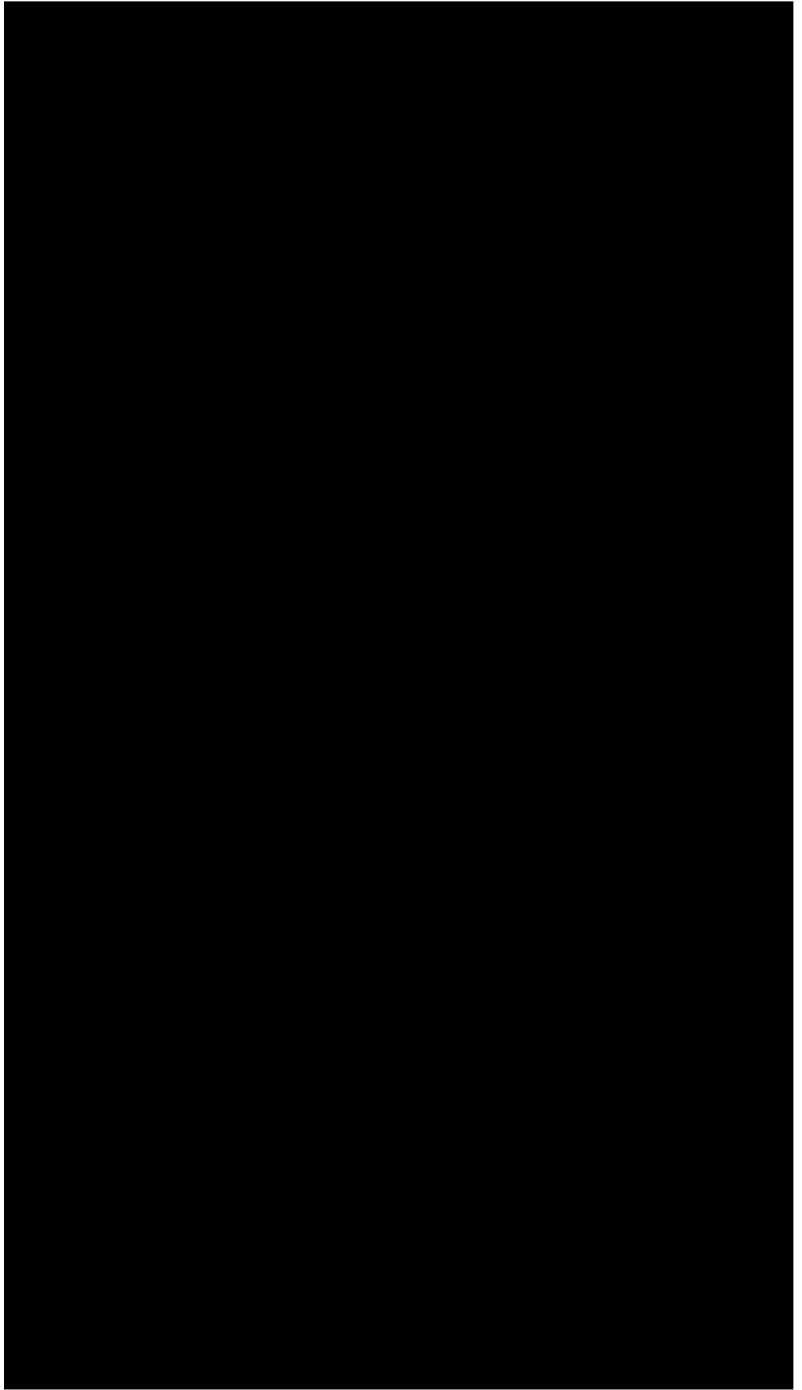
ふり 氏 がな 名	所 属 団 体 及 び 役 職 名
とみやま ゆういち 富 山 雄 一	日立 Astemo ハイキャスト労働組合執行委員長
意見陳述公開の諾否	(希望する方に○をつけてください。 <input checked="" type="radio"/> 諾 ・ 否
項 目	意 見 の 概 要
<p>1. 適切と思われる賃金について</p> <p>2. 上記1の理由</p>	<p>1. 福島県の最低賃金について</p> <p>(1) 金額について</p> <p>連合リビングウエイジ福島（改訂版）において、車保有労働者の時給は、1,364円が必要と算出されており、福島県の最低賃金900円で働く労働者との格差は、464円もあります。</p> <p>また、政府が掲げるより早期に誰もが1,000円を目指すとの方針により、昨年度の最低賃全国加重平均は、1,004円となった。福島県の最低賃金900円との格差は104円あります。その解消に繋がる改正、引上げをお願い致します。</p> <p>・連合リビングウエイジ (参考)</p> <p>(2) 発効日について</p> <p>一般労働者の賃金引上げが4月に実施されることを踏まえ、最低賃金近傍で働く方のために、早期発効をお願い致します。</p> <p>1. 福島県の最低賃金の現状は、連合リビングウエイジ1,364円を下回っており、絶対額として最低生計費を賄っていない。また、消費者物価指数は、昨年最低賃金改定以降10か月、3%前後の高水準で推移が続いており、世帯年収が低い層ほど、昨年1年間と比較した現在の暮らし向きが悪化していると評価している。また、いずれの階層でも半数以上が節約し、苦しんでいる。</p> <p>2. 人口減少と若年層の人口流出について</p> <p>令和6年の住民基本台帳（総務省調査）に基づく県内人口は、昨年比22,663人減少。福島県から他県への流出（転出）は、東京都を始め首都圏となって</p>

<p>3. 低賃金労働者の実態について(地域、業種等具体的に挙げて下さい。)</p>	<p>おります。更には、隣県の宮城県、茨城県、栃木県、新潟県への転出がある。</p> <p>本件は、隣接する県が多く、関東に近いことから、首都圏や隣県への流出が課題となっており、隣県の最低賃金は福島県より高く、人口流出の要因にあげられ、魅力ある賃金への引上げが必要です。さらには、福島県の大学進学率は、48.8%で昨年度より1.1ポイント増加しており、福島県関係学生就職状況等実態調査によると県外に進学した学生の41%が、福島県外を希望している。その理由には、福島に志望する企業が無い、給料が安いからの理由があがっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島県の人口増減 (参考資料8) ・総務省 住人基本台帳 人口移動 (参考資料9) ・新卒初任給 (参考資料5) ・福島県関係学生就職状況等実態調査 (参考資料) <p>3. 連合福島では、福島県最低賃金引上げと早期発効について、労働者はともより、県民の多くのから署名を頂いた114,400筆の署名を尊重して頂きたい。</p> <p>また、福島県議会・市町村における「最低賃金引上げに関する意見書」の採択状況は、県議会ははじめ多くの市長村で採択頂き、ご理解を頂いていることを当審議会においても尊重して頂きたい。</p> <p>1. 福島県内の賃金実態について</p> <p>福島県内の1世帯あたりの年間収入は、全国32位と低位にあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給与・労働時間 全国との比較 事業所規模5人以上 (参考資料4) ・所得及び消費に関する指標 (参考資料5) <p>2. 県最低賃金と全国最低賃金平均額の推移を比較すると104円の格差があり、年々格差が拡大していることから、計画的な引き上げが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県最低賃金と全国平均最低賃金の推移(時間額) (参考資料7)
--	--

<p>4. その他参考意見</p>	<p>3. 連合福島に加盟する組合の本年度の賃金引き上げは、6月24日現在、平均賃上げ方式278,357円、定昇・賃金カーブ維持方式289,338円となっております。</p> <p>福島県の調査では5人以上の事業所を対象とした一般労働者の所定内賃金238,096円で、時間当たりの換算額は、1,777円となっております。福島県最低賃金の900円との格差は、877円と大きな開きがあります。</p> <p>また、有期・短時間・契約労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給62.70円(9.92円増)で引上げ率5.74%、月給については、10,869円(4,041円増)引上げ率4.98%で、時給引上げは、一般組合員(平均賃金方式)を上回っております。</p> <p>低賃金労働者の生活が厳しい状況と人手不足に対する負荷への理解があった。労使で合意し、引き上げされている。いることから引き上げが必要であります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島県の賃上げ結果と県最低賃金の推移 (参考資料6) ・2024連合福島春季生活闘争妥結結果 (審議会配布資料) <p>近年は、超少子・高齢化により生産年齢人口の減少が不可避である中、多くの企業で人材の不足、募集をしても集まらない傾向が加速しています。労働市場は、需要と供給の調整において、賃金や労働条件がこれまで以上に重要視されています。</p> <p>特にここ1,2年は物価等の上昇により、春季闘争での月例賃金は、大幅な改善金額傾向にあります。しかし、それでも実質賃金の改善までには至っておらず、労働者にとっては、厳しい状況となっております。また、賃金が大幅に引き上げられているのはあくまでも大手・中堅中小企業を中心とした組織労働者であり、未組織である企業労働者や、非正規労働者は最低賃金の上昇こそが事実上の賃上げであると考えます。</p> <p>県内で働く全ての労働者にとって最低賃金の引き上げ</p>
-------------------	--

は、不安払しょくや、格差是正の観点からも大変重要であるとともに、隣接する県への生産人口流出の問題にも繋がっていると感じており、額差を改善することも大切だと思います。

私たちの会社もそうですが、多くの企業においては、短時間労働者や有機・契約社員といった非正規労働者に支えられ日々の生産等をおこなっていることから、セーフティネットの強化、賃金の底上げと格差是正のためにも最低賃金の金額引き上げが必要であると考えます。



2023簡易改定LWと2023地域別最低賃金との比較

		2023簡易改定LW			同自動車保有の場合			⑤2023 地域別 最低賃金 (円)	地域物価指数	
		①時間額*1	②月額*2	最賃比	③時間額*1	④月額*2	最賃比		住居費以外 *3	住居費 *4
		②/165h(円)	(円)	⑤/①	④/165h(円)	(円)	⑤/③		さいたま市=100	
地賃A	東 京	1,270	209,000	87.6	1,582	261,000	70.4	1113	101.5	125.6
	神 奈 川	1,200	198,000	92.7	1,515	250,000	73.4	1112	101.1	106.1
	大 阪	1,120	185,000	95.0	1,430	236,000	74.4	1064	98.2	88.3
	埼 玉	1,140	188,000	90.2	1,448	239,000	71.0	1028	98.8	92.5
	愛 知	1,100	182,000	93.4	1,400	231,000	73.4	1027	97.5	82.7
	千 葉	1,140	188,000	90.0	1,448	239,000	70.8	1026	99.2	91.0
地賃B	京 都	1,130	187,000	89.2	1,442	238,000	69.9	1008	99.4	87.6
	兵 庫	1,120	185,000	89.4	1,430	236,000	70.0	1001	98.2	88.4
	静 岡	1,080	179,000	91.1	1,388	229,000	70.9	984	97.3	79.0
	三 重	1,070	177,000	90.9	1,382	228,000	70.4	973	98.4	71.8
	広 島	1,080	179,000	89.8	1,388	229,000	69.9	970	97.8	76.0
	滋 賀	1,090	180,000	88.7	1,400	231,000	69.1	967	98.6	77.3
	北 海 道	1,080	178,000	88.9	1,394	230,000	68.9	960	100.7	66.7
	栃 木	1,070	176,000	89.2	1,370	226,000	69.7	954	97.4	71.5
	茨 城	1,070	176,000	89.1	1,364	225,000	69.9	953	97.3	71.5
	岐 阜	1,050	174,000	90.5	1,358	224,000	70.0	950	96.5	71.0
	富 山	1,060	175,000	89.4	1,364	225,000	69.5	948	97.7	68.9
	長 野	1,050	174,000	90.3	1,352	223,000	70.1	948	96.7	68.9
	福 岡	1,080	178,000	87.1	1,376	227,000	68.4	941	97.0	76.3
	山 梨	1,050	174,000	89.3	1,358	224,000	69.1	938	97.3	68.1
	奈 良	1,070	177,000	87.5	1,376	227,000	68.0	936	96.3	77.7
	群 馬	1,040	171,000	89.9	1,333	220,000	70.1	935	95.6	67.7
	石 川	1,080	178,000	86.4	1,388	229,000	67.2	933	98.8	72.5
	岡 山	1,070	176,000	87.1	1,370	226,000	68.0	932	97.1	73.5
	新 潟	1,070	176,000	87.0	1,364	225,000	68.3	931	97.4	71.1
	福 井	1,070	176,000	87.0	1,370	226,000	68.0	931	98.5	68.2
	和 歌 山	1,070	176,000	86.8	1,370	226,000	67.8	929	98.7	67.8
	山 口	1,050	174,000	88.4	1,364	225,000	68.1	928	99.4	62.8
	宮 城	1,090	180,000	84.7	1,394	230,000	66.2	923	98.4	77.1
	香 川	1,070	177,000	85.8	1,376	227,000	66.7	918	97.9	71.5
	島 根	1,050	174,000	86.1	1,364	225,000	66.3	904	98.9	64.5
	福 島	1,060	175,000	84.9	1,364	225,000	66.0	900	98.5	66.8
愛 媛	1,050	173,000	85.4	1,352	223,000	66.4	897	97.6	65.9	
徳 島	1,060	175,000	84.5	1,364	225,000	65.7	896	98.5	66.7	
地賃C	山 形	1,070	177,000	84.1	1,382	228,000	65.1	900	99.8	68.0
	鳥 取	1,050	173,000	85.7	1,352	223,000	66.6	900	97.8	64.0
	佐 賀	1,050	174,000	85.7	1,358	224,000	66.3	900	97.5	67.1
	大 分	1,050	173,000	85.6	1,345	222,000	66.8	899	97.2	65.6
	青 森	1,040	172,000	86.3	1,345	222,000	66.7	898	98.0	62.3
	長 崎	1,060	175,000	84.7	1,364	225,000	65.9	898	98.5	65.8
	熊 本	1,050	174,000	85.5	1,364	225,000	65.9	898	98.4	65.9
	秋 田	1,040	172,000	86.3	1,345	222,000	66.7	897	97.9	62.9
	高 知	1,050	174,000	85.4	1,358	224,000	66.1	897	98.6	64.2
	宮 崎	1,020	168,000	87.9	1,315	217,000	68.2	897	95.8	60.4
	鹿 児 島	1,020	168,000	87.9	1,315	217,000	68.2	897	95.9	61.1
	沖 縄	1,080	179,000	83.0	1,388	229,000	64.6	896	99.0	72.4
	岩 手	1,050	174,000	85.0	1,358	224,000	65.8	893	98.3	65.0

*1 ①③時間額は、それぞれ②④月額を「賃金構造基本統計調査」(厚生労働省,2022)所定内実労働時間数全国平均(165時間)で除し、10円未満は四捨五入した

*2 さいたま市のリビングウェッジ(成人単身)を住居費(50,174円)と住居費以外(143,623円、自動車保有の場合は193,706円)に分解し、それぞれさいたま市を100とする地域物価指数(*3*4)を乗じて算出した

*3 『住居費以外の地域物価指数』は、「小売物価統計(構造編)」(総務省統計局,2022)の「家賃を除く総合」指数から算出した

*4 『住居費の地域物価指数』は、「住宅・土地統計調査」(総務省統計局,2018)「1か月当たり家賃・間代」(0円を含まない)と「1か月当たり共益費・管理費」(0円を含まない)を足した額から算出した

2024年度（R6）最低賃金 参 考 資 料

1 県民所得（2021年度（R3年））

県民所得	全国順位	備 考
52,927億円	21位	

資料出所：福島県 県内経済計算年報「令和5年5月 県民経済計算」

2 県内総生産額（2021年度（R3）暫定版）

県内総生産額（名目）	全国順位	備 考
78,285億円	20位	

資料出所：福島県県内経済計算年報「令和4年5月 県民経済計算」

3 製造品出荷額（2021）（R3）

製造品出荷額	全国順位	備 考
51,411億円	21位	

資料出所：福島県統計課「令和3年福島県の工業」

4 給与・労働時間 全国との比較 事業所規模5人以上（2024年（R6））

項 目	全 国	福 島 県
現金給与総額 (円)	295,709	257,871
きまって支給する給与 (円)	283,316	254,240
特別給与 (円)	12,393	3,631
総実労働時間 (時間)	141.5	148.0
所定内労働時間 (時間)	131.0	138.8
所定外労働時間（製造業） (時間)	10.5	9.2

資料出所：福島県統計情報「福島県の賃金、労働時間及び雇用の動き（令和6年4月分）から抜粋」

5. 所得及び消費に関する指標

項 目	福島県	全国1位
① 1人あたりの県民所得	293.4万円 (25)	東京都 581万円
② 1人あたりの雇用者報酬	435万円 (30)	東京都 569万円
③ 単身世帯の消費支出	151千円 (24)	東京都 173千円
④ 消費者物価指数	99.5 (30)	東京都 104.6
⑤ 1人あたりの家計最終消費支出	213万円 (34)	東京都 299万円
⑥ 1人時間あたり所定内給与 (5人以上)	1,592円 (31)	東京都 2,324円
⑦ 常用労働者1人時間あたり所定内給与額 (5人以上)	1,649円 (32)	東京都 2,400円
⑧ 短時間労働者時間あたり所定内給与 (5人以上)	1,063円 (36)	東京都 1,515円
⑨ 新規高卒の初任給 (10人以上)	164千円 (31)	神奈川 182千円

資料出所：内閣府「県民経済計算年報」

総務省「全国消費実態調査」、「小売物価統計調査」

厚生労働省「賃金構造基本統計調査」から抜粋

6 福島県の賃上げ結果と県最低賃金の推移

項目	平均妥結額	賃金引き上げ率	県最賃引上額	最賃引き上げ率
2003年	4,696円	1.73%	0円	0.00%
2004年	4,145円	1.58%	1円	0.16%
2005年	4,650円	1.70%	3円	0.49%
2006年	4,526円	1.61%	4円	0.65%
2007年	2,886円	1.04%	11円	1.78%
2008年	3,057円	1.11%	12円	1.91%
2009年	県の調査は終了		3円	0.46%
2010年	2011年からは連合福島春闘集計資料から		13円	2.01%
2011年	4,625円	1.68%	1円	0.15%
2012年	4,409円	1.57%	6円	0.91%
2013年	4,558円	1.76%	11円	1.66%
2014年	4,416円	1.72%	14円	2.07%
2015年	4,436円	1.80%	16円	2.32%
2016年	3,138円	1.25%	21円	2.98%
2017年	2,673円	0.96%	22円	3.03%
2018年	4,324円	1.55%	24円	3.21%
2019年	3,689円	1.40%	26円	3.37%
2020年	3,121円	1.22%	2円	0.25%
2021年	3,147円	1.31%	28円	3.50%
2022年	3,904円	1.49%	30円	3.75%
2023年	8,648円	3.11%	42円	4.90%
2024年	14,629円	5.06%		

資料出所：平均妥結額・引き上げ率は福島県労働領域労政G調査

：最低賃金引上額・率は労働調査会出版局編

※平均妥結額について2008年度で県の調査は終了。

※2011年からの平均妥結額と妥結率は連合福島春闘集計（平均要求方式）データを引用。

7 県最低賃金と全国平均最低賃金の推移（時間額）

項目	福島県（A）	全国（B）	格差（B-A）	A/B×100
2001年	610円	663円	53円	92.00%
2002年	610円	663円	53円	92.00%
2003年	610円	664円	54円	91.86%
2004年	611円	665円	54円	91.87%
2005年	614円	668円	54円	91.92%
2006年	618円	673円	55円	91.83%
2007年	629円	687円	58円	91.56%
2008年	641円	703円	62円	91.18%
2009年	644円	713円	69円	91.32%
2010年	657円	730円	73円	90.00%
2011年	658円	737円	79円	89.28%
2012年	664円	749円	85円	88.65%
2013年	675円	764円	89円	88.35%
2014年	689円	780円	91円	88.33%
2015年	705円	798円	93円	88.35%
2016年	726円	823円	97円	88.21%
2017年	748円	848円	100円	88.21%
2018年	772円	874円	102円	88.33%
2019年	798円	901円	103円	88.57%
2020年	800円	902円	102円	88.69%
2021年	828円	930円	102円	89.03%
2022年	858円	961円	103円	89.28%
2023年	900円	1,004円	104円	89.64%

8 福島県の人口増減（令和5年1月1日）

人口増減数	全国順位	備 考
- 22, 663人	27位	対前年比△1.23

資料出所：総務省「住民基本台帳 令和4年1月1日」

9 福島県の人口社会減（令和5年1月1日）

人口社会減数	全国順位	備 考
- 5, 003人	1位	

資料出所：総務省「住民基本台帳 令和4年1月1日」

福島県関係学生就職状況等実態調査 報告書概要版

県における人材確保施策や、県内企業の採用戦略等の基礎資料を作成することを目的とし、福島県出身で県外に進学した学生や、県内の大学等に在籍している学生を対象に、就職活動の状況や、就職先選択の動機、就職先選択に至るまでの背景等についてのアンケート調査を実施した。

◆調査概要

調査方法	: Web調査
調査対象	: 福島県出身で県外に進学した学生や、県内の大学等に在籍している学生
調査期間	: 令和4年11月30日～令和5年1月27日
回答数	: 241件

◆調査結果のポイント

内定先の勤務地

- ✓ 「福島県内」が48.1%と最も高く、次いで「東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県」が32.0%、「福島県以外の東北地方」が8.8%。
- ✓ 出身地別にみると、全体の傾向との違いとして、会津では「福島県内」と「東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県」が同率で最も高く、福島県外では「東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県」が最も高い。
- ✓ 現在の居住地別にみると、全体の傾向との違いとして、東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県では「東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県」が最も高い。

福島県内出身者が福島県内に就職を決めた理由（〇は3つまで）

- ✓ 「（自らの意思で）家族や地元の友人と近くで暮らしたいから」が72.4%と最も高く、次いで「福島に貢献したいと思ったから」及び「福島での暮らしが合っていると感じたから」が59.8%。

福島県内出身者が福島県外に就職を決めた理由（〇は3つまで）

- ✓ 「福島に志望する企業が無いから」が62.9%と最も高く、次いで「都会の方が便利だから」が48.6%、「給料が安いから」が37.1%。

実現したら福島県へ就職する気持ちが傾いた（傾く）と思うこと（〇は2つまで）

- ✓ 「働きたいと思う企業や仕事が増える」が58.7%と最も高く、次いで「福島県内企業の給与が増える」が47.6%、「福島県の地域や経済が活性化する」が27.0%。

福島県内企業への就職活動を行った際に課題に感じたこと（〇は2つまで）

- ✓ 「面接等を行う際の距離・時間・交通費」が47.2%と最も高く、次いで「福島県内企業の情報が得づらかった」が38.9%、「福島県内企業の雇用条件（賃金など）」が31.5%。

福島県外に就職または就職希望の者が、将来福島県に戻る意向

- ✓ 「分からない」が38.6%と最も高く、次いで「どちらかという都希望する」が24.4%、「全く希望しない」が19.7%。

将来福島県に戻ってくることを希望する人が福島県に戻ってきたいと思う理由（〇は2つまで）

- ✓ 「福島に貢献したいから」が54.1%と最も高く、次いで「子育ての際に実家が近い方が安心だから」が40.5%、「親・親類の介護のため」が29.7%。

福島県最低賃金に関する意見書（労働者側参考人）

陳述日：7月30日

氏名	所属団体及び役職名
たかはし かつゆき 高橋 勝行	福島県医療労働組合連合会 執行委員長
意見陳述公開の諾否	(希望する方に○をつけてください。 <input checked="" type="radio"/> 諾 ・ 否
項目	意見の概要
<p>1. 適切と思われる賃金について</p> <p>2. 上記1の理由</p>	<p>すべての労働者が、健康で文化的な生活を営むために、時間額 1,500 円以上への早期実現を求めます。</p> <p>(2-1) 福島県の現在の最低賃金額は 900 円です。これで 1 カ月働いた賃金は、130,410 円となります(毎勤統計・令和 5 年度福島県月平均労働時間は 144.9 時間)。ここから税金や社会保険料が引かれ、家賃、水光熱費などの支払い、奨学金の返済などが加われば、とても人間らしく生活できる水準ではありません。</p> <p>昨今の物価高騰から非正規をはじめ低賃金労働者の生活を守るために、最賃の大幅引き上げが必要です。</p> <p>(2-2) 地域別最賃の比較で、東京都の 1,113 円と福島県との差は 213 円もあり、1 カ月あたり 3 万 864 円、年間では 37 万 368 円もの差になります。この賃金格差は労働者が首都圏や大都市に流出する一因となっています。</p> <p>全労連が取り組んでいる「最低生計費試算調査」では、青年労働者が自立して暮らすには、全国どこでも月額 25 万円、時間額 1500 円以上が必要で、都市部と地方の差はほとんどないことが明らかになっています。(表 1 参照)</p> <p>(2-3) 最賃引き上げのために、中小企業・小規模事業者への支援が不可欠です。社会保険料・税の減免や、人件費・原材料費等の上昇分を適切に価格に反映される仕組みの整備などが求められます。最賃引き上げは、様々な困難を抱える福島県の地域経済を守り、活性化させるうえで大きな力となるものです。</p>

<p>3. 低賃金労働者の実態について(地域、業種等具体的に挙げて下さい。)</p>	<p>《医療・介護労働者》</p> <p>(3-1) 医療・介護現場には、看護師はじめ国家資格等のライセンス労働者が多数います。しかし、同様のライセンスを持つ教員より看護師の所定内賃金は117,600円低く、介護職の所定内賃金は、全産業平均より月額で76,092円も低くなっています(厚労省の令和5年賃金構造基本統計調査)。</p> <p>仕事に見合わない低賃金が離職を促し、看護師・介護職員の不足に拍車をかけています。加えて、診療報酬・介護報酬は全国一律であるにもかかわらず、賃金実態は地域間の格差が大きく、地域別最低賃金の地域間格差とリンクしています。(表2、表3参照)</p> <p>(3-2) コロナ禍が4年以上続くなかで、関連する補助金の廃止により、労働者の一時金切り下げも行われました。この間、賃上げに関わるベア評価料などの報酬改定がありましたが、全職員を対象としないや、施設ごとに格差をつける配分となっているなど、きわめて不十分な内容です。</p> <p>24春闘では、民間主要企業が5~10%の賃上げを実施するなか、医労連の回答状況は定昇込み3%程度の賃上げに止まり、さらに格差が広がる状況となっています。</p> <p>(3-3) 現場の奮闘に見合わない低賃金状態を放置したままでは、慢性的な人員不足を改善することはできません。看護現場では、離職者が増え、募集定員に満たない実態が続き悪化しています。この状態が続けば、国民の要求に応える医療・看護・介護の提供が困難となります。</p> <p>地域間格差を是正し、大幅な最低賃金の引き上げは、医療・介護労働者の賃金底上げにとって重要です。</p>
<p>4. その他参考意見</p>	<p>(4-1) 福島県では「将来必要になる介護職員数と実人数」の推計をまとめています。不足数は、2026年度に2207人、2030年度に3285人と拡大し、2040年度は約7500人も不足するとしています。抜本的な対策が必要です。</p> <p>(4-2) 県内の今年5月の介護関係の有効求人倍率は2.86倍と高い状況にあり、求職者が少ないのは、給与水準が低いからに他ならないと思われまます。</p>

表1 「最低生計費試算調査」結果（25歳単身男性の場合） 総括表（監修：中澤秀一静岡県立大学短期大学部准教授）

都道府県名	北海道	青森県	秋田県	岩手県	山形県	宮城県	福島県	東京都
自治体名	札幌市	青森市	秋田市	盛岡市	山形市	仙台市	福島市	北区
最低賃金ランク	B	C	C	C	C	B	B	A
消費支出	185,798	179,522	182,825	186,717	181,425	183,708	183,513	179,804
食費	45,978	46,583	47,235	47,242	46,605	47,226	47,442	44,361
住居費	39,000	33,000	35,000	37,000	34,000	35,000	36,000	57,292
水道・光熱	12,505	10,406	10,687	11,614	10,878	11,068	10,903	6,955
家具・家事用品	4,905	4,066	3,841	3,932	4,321	4,150	3,893	2,540
被服・履物	6,922	6,885	6,901	7,144	6,131	7,709	6,506	6,806
保健医療	4,701	2,604	2,690	2,636	2,682	2,682	2,617	1,009
交通・通信	14,459	36,150	36,114	36,057	36,022	36,103	36,234	12,075
教養・娯楽	35,654	19,599	20,286	19,988	19,089	19,512	19,796	25,577
その他	21,674	20,138	20,072	20,105	21,696	20,257	20,123	23,189
非消費支出	58,009	52,112	52,555	52,686	53,041	57,998	53,531	51,938
予備費	18,500	17,900	18,200	18,600	18,100	18,300	18,300	17,900
最低生計費	204,298	197,422	201,025	205,317	199,525	202,008	201,813	197,704
(月額)	262,307	249,534	253,580	258,003	252,566	260,006	255,344	249,642
年額(税込)	3,147,684	2,994,408	3,042,960	3,096,036	3,030,792	3,120,072	3,064,128	2,995,704
必要最低賃金額A (173.8時間換算)	1,509	1,436	1,459	1,484	1,453	1,496	1,469	1,436
必要最低賃金額B (150時間換算)	1,749	1,664	1,691	1,720	1,684	1,733	1,702	1,664
最低賃金額 (2023年10月～)	960	898	897	893	900	923	900	1,113
調査実施時期	2024年4月改定 (2016年4月初回)	2022年10月改定 (2016年3月初回)						2019年9月

表2 医療・福祉業の所定内賃金と地域別最低賃金の関係(2023年度)

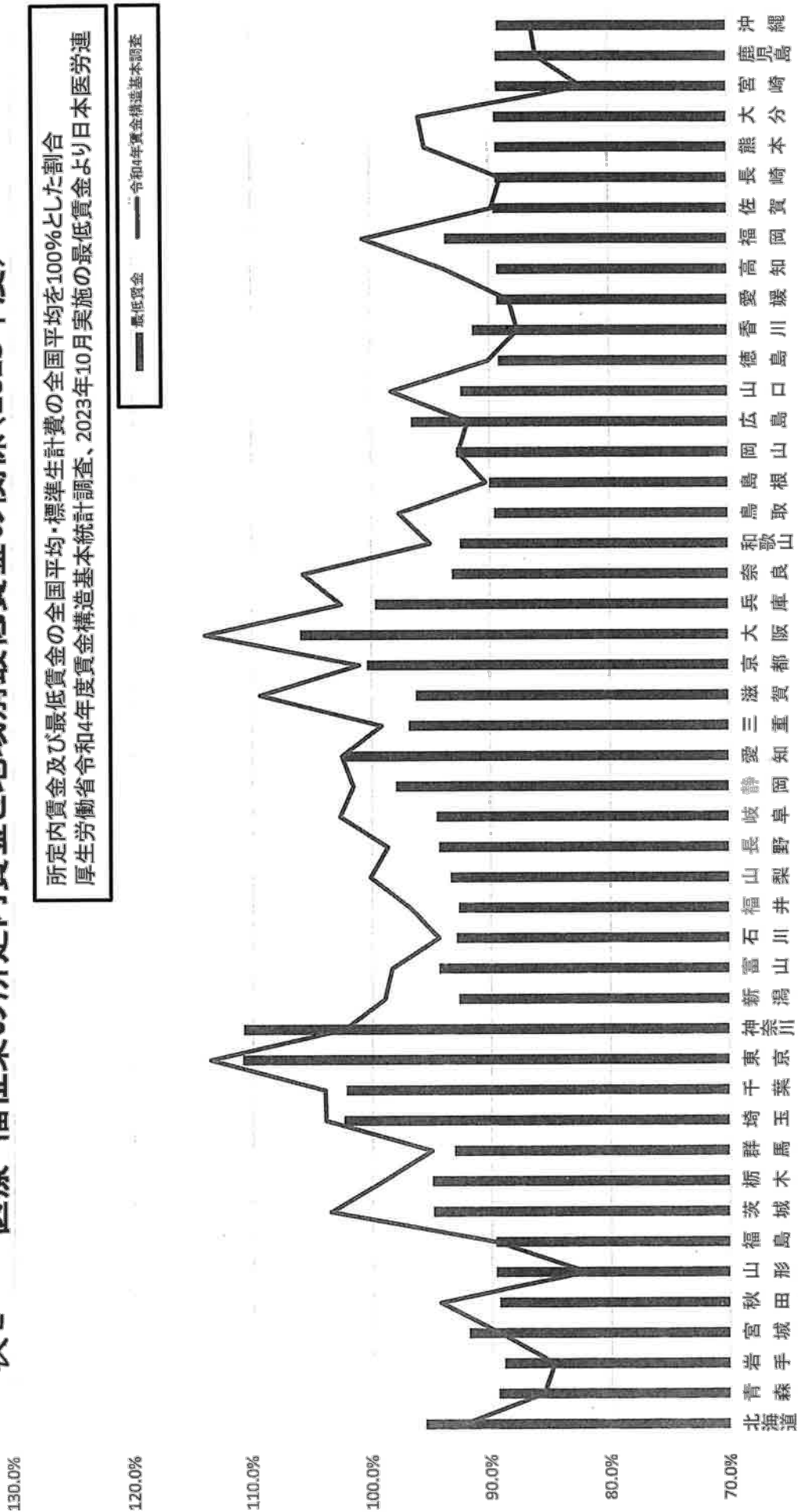
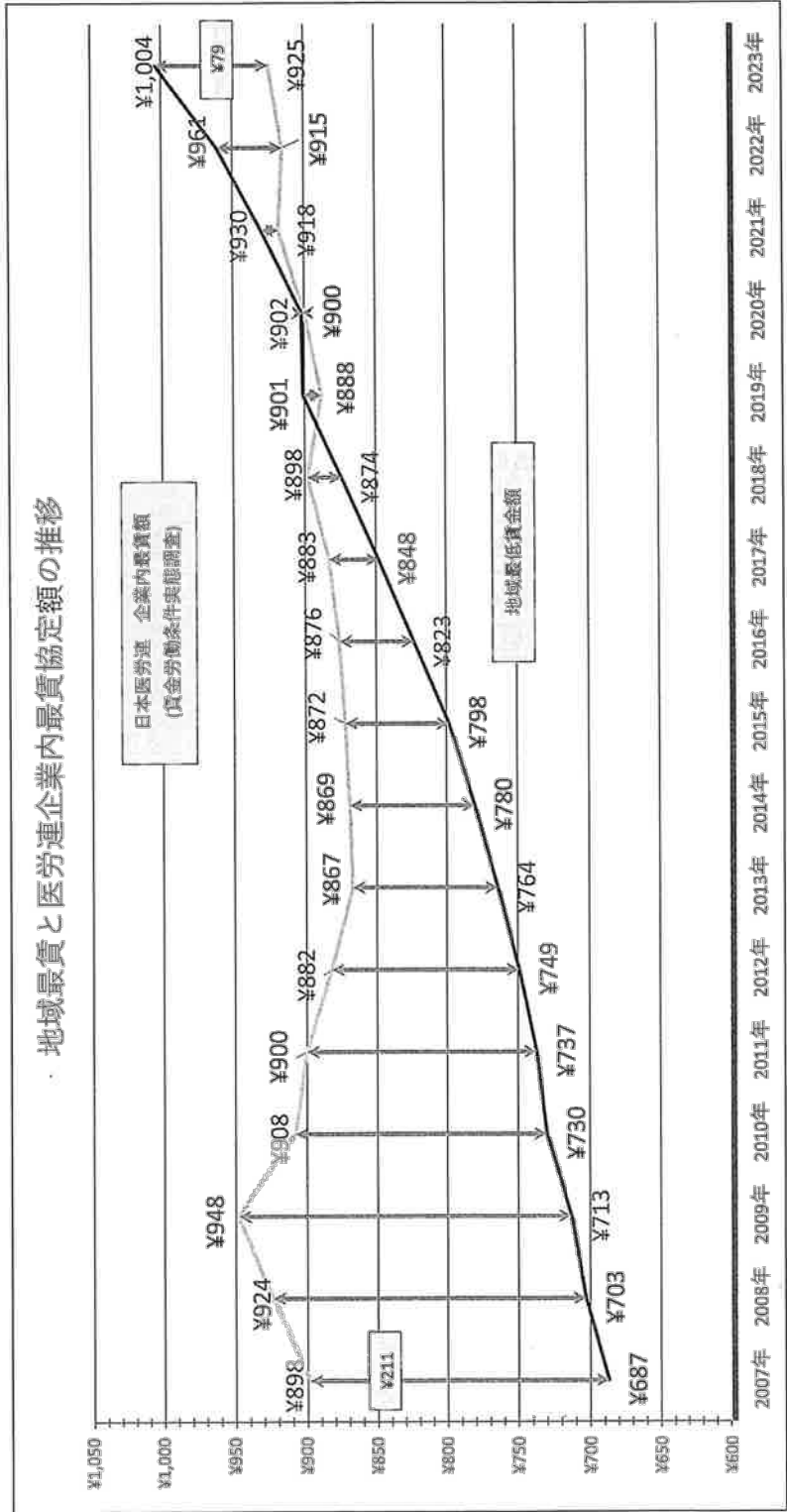


表3

地域最賃額と医労連の企業内最賃協定額の推移

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
看護師平均	¥1,237	¥1,231	¥1,266	¥1,192	¥1,191	¥1,228	¥1,211	¥1,216	¥1,237	¥1,800	¥1,800	¥1,800	¥1,800	¥1,650	¥1,231	¥1,260	¥1,242	¥1,257
看護師最高	¥1,700	¥1,700	¥1,700	¥1,540	¥1,540	¥1,540	¥1,540	¥1,600	¥1,650	¥1,800	¥1,800	¥1,800	¥1,800	¥1,650	¥1,231	¥1,260	¥1,242	¥1,257
看護師最低	¥953	¥953	¥1,000	¥840	¥850	¥850	¥850	¥850	¥850	¥850	¥850	¥850	¥850	¥850	¥900	¥900	¥820	¥1,020
誰でも平均 (A)	¥924	¥924	¥948	¥908	¥900	¥882	¥867	¥869	¥872	¥876	¥883	¥898	¥888	¥900	¥918	¥915	¥925	¥925
平均額の差額	¥26	¥26	¥24	¥40	¥8	¥18	¥15	¥2	¥3	¥4	¥7	¥15	¥10	¥12	¥18	¥3	¥10	¥10
誰でも最高	¥1,280	¥1,358	¥1,358	¥1,121	¥1,121	¥1,167	¥1,121	¥1,121	¥1,121	¥1,096	¥1,096	¥1,500	¥1,096	¥1,096	¥1,179	¥1,179	¥1,179	¥1,179
誰でも最低	¥650	¥650	¥730	¥720	¥730	¥670	¥670	¥685	¥689	¥720	¥720	¥740	¥763	¥770	¥800	¥790	¥800	¥800
加重平均額 (B)	¥687	¥703	¥713	¥730	¥737	¥749	¥764	¥780	¥798	¥823	¥848	¥874	¥901	¥902	¥930	¥930	¥961	¥1,004
加重平均の昨年比	¥16	¥16	¥10	¥17	¥7	¥12	¥15	¥16	¥18	¥25	¥25	¥26	¥27	¥1	¥28	¥31	¥43	¥43
最高額	¥739	¥766	¥791	¥821	¥837	¥850	¥869	¥888	¥907	¥932	¥958	¥985	¥1,013	¥1,013	¥1,041	¥1,072	¥1,113	¥1,113
最低額	¥618	¥627	¥629	¥642	¥645	¥653	¥664	¥677	¥693	¥714	¥737	¥761	¥790	¥792	¥820	¥853	¥893	¥893
地域格差	¥121	¥139	¥162	¥179	¥192	¥197	¥205	¥211	¥214	¥218	¥221	¥224	¥223	¥221	¥221	¥219	¥220	¥220
差額 (A-B)	¥221	¥221	¥235	¥178	¥163	¥133	¥103	¥89	¥74	¥53	¥35	¥24	¥-13	¥-2	¥-12	¥-46	¥-80	¥-80



(別紙 2)

福島県最低賃金に関する意見書（使用者側参考人）

陳述日：7月30日

役 職 氏 名	
事 業 所 名	
所在地（電話番号）	
資 本 金	
所属業界団体名とその内容	
意見陳述公開の諾否	(希望する方に○をつけて下さい) 諾 ・ <input checked="" type="radio"/> 否
意 見 の 概 要	
	

